

海ごみPR大使・野洲のおっさんと広めよう ぐるっとびわ湖BLUEの輪

うみゴミ対策琵琶湖プロジェクト実行委員会

2021年度 成果

琵琶湖と合わせて「海」をキレイにする取り組みを進め、事業がさらに浸透
野洲のおっさんはびわ湖1周200kmをごみを拾いながら3周目のゴール達成

セブン-イレブン初のオーナー店舗での拾い箱設置を実現
市民の参加が予想を超え、自治体が湖岸での常時設置を決定

コロナ禍におけるプラスチックごみ容器急増に布石
デポジット販売の次年度活性を目指し「量り売りマーケット」開催



自治体連携モデル

「びわ湖の日40周年」と連携。三日月知事からメッセージも贈られたほか、平和堂など県内大手企業も多数参加した。



商店街連携モデル

地図を頼りに商店街一帯を駆け巡り、海ごみクイズに答えて応募すると、商店街のユニーク商品が当たるイベントを開催。



企業連携モデル

セブン-イレブンのオーナー店舗では初となる、拾い箱設置を実現。自治体が常時設置を決定、他店展開も来年度計画。

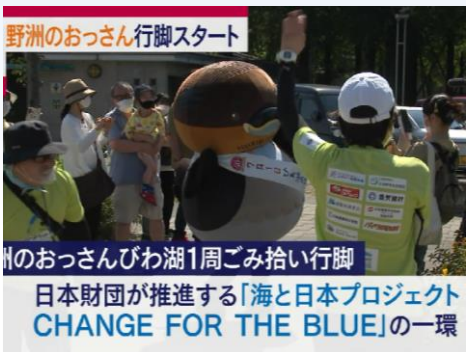


教育連携モデル

琵琶湖の学習船「うみのこ」に乗る小学5年生を対象に、琵琶湖と海のごみのことを出前授業。石川の海ともつないだ。

その他：滋賀のお土産「びわ湖ブルー」連携商品も開発。リユース容器モデル企画12月実施予定

メディア露出



5/30 「BBCニュース」



5/30 「京都新聞朝刊」



10/22 セブン＆アイホールディングス 環境アクション記事



10/25 「みんなの経済新聞」

その他：TV13本 WEB35本(PRTIMESからの転載含む) 新聞3紙 掲載

2021年度の課題とこれからの展望

県民の「せっけん運動」で琵琶湖の環境を取り戻した滋賀県
今年度は「びわ湖の日40周年」と共に、大手企業との連携にも成功

環境先進県として「琵琶湖」モデルを「海」へ、そして「世界」へと飛躍の来年度
宗教サミットも行われる比叡山から「山と湖と海でつなげようBLUEの輪」